

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4426
24年2月27日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

2024年西日本 春闘討論集会

おはようございます。盛況だった4年ぶりのランタンフェスティバルは終わりましたが、まだまだ寒い日があります。寒暖の差も大きいです。体調を崩さないように注意しましょう。

2月24日(土)〜25日(日)に北九州市立八幡西生涯学習センターで開催された「2024年西日本春闘討論集会」に支部から山田支部長、原田副支部長が出席しました。また、郵政ユニオン九州地本からも米地委員長、松野執行委員が出席しました。

集会はユニオン北九州の見口書記長の挨拶で開会しました。続いて現地実行委員会を代表して「平和・労働・人権北九州共闘センター」の竹内議長が挨拶され、その後、関口広行全労協事務局長

の基調報告へと移行しました。

基調報告では「24春闘では生活と権利を守るために大幅賃上げを勝ち取らなければならない。非正規労働者やフリーランスなどは全労働者の40%を超えているなかで、8時間働けば生活できる賃金を目指すためには、改めて職場での団結・連帯の形成に全力を挙げなければならぬ。そして、格差と貧困に正面から向き合う大衆的な闘いをつくる必要がある」と訴えました。

質疑応答の後、外国人実習生のたまたかいとして、ネギ農家で酷い働かせ方をさせられたうえで解雇された3名の外国人労働者の紹介がありました。



休憩を挟み、分科会へと移行しました。分科会は①最低賃金と賃金闘争②非正規労働者の闘い③外国人労働者・技能実習生の3つに分かれ開催されました。

②非正規労働者の闘いの分科会では、郵政ユニオン九州地本米地委員長が「日本郵政における非正規労働者への取り組み」として労契法20条裁判のたまたかい、均等待遇と正社員化を求める運動などを報告しました。また、非正規公務員の闘いとして会計年度任用職員のとまたかいの報告がありました。

分科会では出席者から様々な意見が出され、郵政における非正規労働者の現状についても質問が投げかけられ、スキル制度や正社員登用について簡単に説明しました。また、組織拡大についてはSNSなどを活用すべきとの意見なども出されました。

分科会の最後は「非正規労働者の組織化は粘り強い闘いが必要だし、今後も運動を頑張りましょう」と締めくくりました。

その後、各分科会の座長が簡単なまとめの報告を行い、1日目の集会在終わり休会となりました。2日目は、計12の各地方・各労組から運動や取り組みが報告され各々が諸要求実現を目指して闘いぬく事が確認されました。



また、特別報告として、会社と警察権力が一体となって労組を攻撃するという現代ではありえないような関西生コン支部の闘争が報告され、今後この闘いを支援していく事も確認されました。

各職場や地域から多種多様な問題が報告されましたが、どの職場でも非正規労働者や公務の職場の会計年度任用職員、外国人技能実習生等、立場の弱い者が攻撃の一番の

対象となつている事は一致しており、同一労働同一賃金を基本とした均等待遇を求める運動の重要性を実感しました。24春闘では、物価上昇に見合う大幅賃上げ、最低賃金1500円以上、格差是正、軍備増強と憲法改悪の阻止等、多くの課題を抱えています。諸要求実現のためにはストライキを構え、粘り強く運動していく事が求められます。



最後に、誰もが安心して働ける職場・暮らせる社会の実現を求め、末永ユニオン北九州委員長の団結ガンバローで、24春闘を闘いぬく事を確認し合い、集会を終えました。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、希望者全員が正社員化を。

ゆげ、均等待遇、なげん差別。

ユニオンは労契法裁判に勝利する。